

道東から出発の

新ボランティア紹介

平成27年度
1次隊

青年海外協力隊



細川 知世さん

出身:帯広市
派遣国:ボリビア
職種:環境教育

とにかく色々な人と
関わり多くの人と
触れ合おう!



- ① 住民へごみ分別を中心とした環境意識の向上
- ② 気づき驚きを大切に、よく見てよく伝える!

青年海外協力隊



山名田 静さん

出身:紋別市
派遣国:ウズベキスタン
職種:ソーシャルワーカー



任地の人々にプラスの
刺激を与える地域活動



- ① 社会的弱者の自立支援とボランティア育成
- ② 社会的弱者に対する地域の受け皿強化

青年海外協力隊



能登 淳子さん

出身:宮城県
派遣国:ペルー
職種:環境教育

日本の学校で使える
ネタを増やす



- ① アマゾン動物救護センターで環境教育を実施。
- ② アマゾンの自然の魅力を肌で感じ、伝えたい。

シニア海外ボランティア



中塚 智子さん

出身:中標津町
派遣国:ウガンダ
職種:環境教育



とにかく現地の人と
一緒に働きたい。



- ① エコツーリズムの運営管理、ガイドライン作成など
- ② 現地の人と一緒に働くこと。

学校訪問

ようこそ花園小学校へ!



全校児童185人の拍手の中入場し、スタートした交流活動。花園小学校では、開校以来、「花園イン・ザ・ワールド」と題し、国際理解教育の一環として外国の方々との交流を続けています。本年度はJICA帯広より4名の研修員にお越し頂きました。自国の紹介活動では、日本と異なる文化に「そうなんだ!」「えー!」と終始驚きの声が上がっていました。積極的に研修員の方々と交流を深める子どもたちの姿から、国を超えて温かな人間関係を築くことのできる土台がこの活動を通して培われていくことを実感しました。児童たちにとって、国際協力の第一歩となる貴重な時間を提供していただくことができました。

文責 花園小学校教諭 川口 麻衣



研修員受入

農業情報活用のためのICT技術向上コース



この研修は、情報・通信に関する技術を農業で活用する事を目的として2月15日から行われました。農業データ処理のためのExcel・Access・Web制作等の基本的な内容から、VBA・PHP・サーバー構築・GPSといった発展的実習まで幅広く取り組みました。また、日本の農業現場でのIT活用事例を視察し、自国の農業発展を目指し真剣に学びました。写真は、コースリーダーの帯広畜産大学 佐藤禎稔先生指導のもと、パソコン組立てを行っている実習風景です。この実習を通して基本的なパソコンの構造や機能や仕組みを理解することが出来ました。研修員は日本で様々な技術を学び、5月22日に帰国しました。(一般社団法人北海道中小企業同友会 とかち支部 飯沼 深雪)

中小企業海外展開支援

ベトナムラオスセミナー in 釧路

5月28日(木) 釧路工業技術センターにおいて、「ベトナム・ラオスセミナー in 釧路」を開催しました。セミナーでは、両国との投資・貿易促進の支援するためにJICAが派遣している菊池正JICA専門家(ベトナム・ホーチミン)と鈴木基義JICA専門家(ラオス・ビエンチャン)の2名の投資アドバイザーが、両国の投資環境や日本企業の進出状況、投資関連法制度等を説明しました。会場には釧路や帯広の企業や自治体等から20名以上の参加がありました。

JICA北海道(帯広) 図書資料室
[JICAプラザ] からのご案内

LIBRARY

ウェブサイト図書資料室ページ、リニューアルしました!

『もしり』やJICAの広報誌『mundi』に掲載されている本等をどんどんご紹介していきます。図書資料室ではJICAの活動や国際協力に関する本だけではなく、図鑑や絵本といったお子様向けの図書も充実しています。『NARUTO』や『ONE PIECE』等の英語版の漫画や『銀の匙Silver Spoon』(こちらは日本語版です)も置いてあります。一般の方への貸出も行っていますので、どうぞお気軽にお越しください。

<URL><http://www.jica.go.jp/obihiro/library/index.html>

■開室時間:火曜日から日曜日 午後1時~午後6時30分
■閉室時間:月曜日・祝日・年末年始 ■お問合せ:TEL/FAX 0155-41-4100

OBIC通信

わくわく昆虫ランド



美しいグリーン色に包まれたその体をよく見ると、いつも見るアゲハの幼虫とちょっと違って見えます。シンプルでありながら体に青い線がスーッと1本のシンプル・ビューティー。そう、アゲハチョウの中でも一際目立つミヤマカラスアゲハの幼虫です。ちょうどさなぎになろうとしているところを発見しました。しばらく観察していましたが、成虫になる日を1週間後に控え、突然ありの集団に襲われてしまいました。身近な自然のなかで、こうして生きていくための駆け引きが行われていることを改めて感じた出来事でした。(文・写真:石井優子)

77.8FM JICA

第2・第4土曜日12:30~77.8Mhzでオンエア中!

ハロー! ジャイカフェ **Hello! Jicafe 通信**

7月5日はスタジオを飛び出して人気イベント「世界のともだち」にJICAフェステージが登場します。今年もアフリカドラマや研修員からのクイズ、ゲーム大会など皆さんで楽しめるイベントです。当日は一緒に盛り上がりましょう!



新スタッフ紹介



中澤 理恵子 さん

12月に三重県から帯広に引っ越ししてきました。名古屋港からフェリーで2夜かけて苫小牧港に到着し、その距離を実感したところ。北海道と言えば、引っ越し前には、厳しい寒さのイメージが先行していましたが、冬には冬の楽しみがあり、冬を超えれば瞬間に新緑のシーズンに突入し、街中も色鮮やかにピンクや黄色に色づき、春を迎える喜びを知りました。見るもの、聞くものすべてが新鮮な毎日を送っています。JICAでは中小企業海外展開支援を主に担当させていただいています。企業の皆さんのお役に立てるように頑張りますので、よろしくお願ひします。



平島 希美 さん

4月から帯広市派遣研修員として着任しました平島です。JICAってどんな仕事をしているんだろうということからスタートしていますので、JICA職員という立場だけでなく、知らないからその視点を持ちながら仕事に取り組んでいきたいと思っています。また、色々な国からやってくる研修員と交流する機会です。英語は得意ではありませんが、在任中はたくさんの方にチャレンジして、多くの知識・経験を積んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。(写真は双子の妹と。向かって右が私です。)

What's New!

JICA北海道(帯広) 発 道東インフォメーション お問合せ TEL0155-35-1210

EVENT・SEMINAR

JICA北海道(帯広) 研修コース発表会一般公開のお知らせ

JICA北海道(帯広)では、市民の皆さんにJICA研修員受入事業を広く理解していただくため、研修発表会を公開しています。途上国の現状を知るとともに、参加研修員が十勝・帯広で学んだ技術を帰国後どのように活かしていくのか聞いてみませんか?発表は英語で実施されます。

◆平成27年度 夏のスケジュール ◆ (定員5名・先着順)

日程	研修コース名	内容	締切り
7/3 (金)	気候変動に対する順応的流域管理(適応策)「洪水対策と生態系保全」	参加国紹介	7/1
7/23 (木)	持続的農業生産と環境保全のための土壌診断技術	研修成果	7/21
8/25 (火)	地域住民の参加による多様な森林保全	参加国紹介	8/21
8/27 (木)	気候変動に対する順応的流域管理(適応策)「洪水対策と生態系保全」	研修成果	8/25

■お申込・お問合せ:JICA北海道(帯広) TEL 0155-35-1210 担当:工藤成美
※お申込は締切日までにお願ひします。(定員5名・先着順)
※研修発表会は変更になることがあります。開催日が近くなりましたらホームページでご案内をいたします。

地域交流事業の実施団体を募集します

JICA研修員と地域住民の方との交流事業の企画・運営に携わってくださる地域の団体や個人の方を募集します。研修員と交流しながら、相互の文化・習慣や国際協力についての理解を深めませんか。詳しくは北海道国際センター(帯広)ホームページ(<http://www.jica.go.jp/obihiro/topics/2015/20150414.html>)をご覧ください。

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト2015募集

募集テーマ 世界を知ろう!考えよう!
ーよりよい世界のため私たちにできること

■募集期間:6月12日(金)~9月11日(金) 当日消印有効
たくさんのご応募お待ちしております!

2015年度 草の根技術協力事業 第一回募集

- パートナー型
応募締切:2015年7月6日(月)17時必着
 - 支援型
応募締切:2015年11月2日(月)17時必着
- ※応募メニューの内容が改定されました。詳細は、JICAホームページをご覧ください。
→<http://www.jica.go.jp/partner/kusanone/form.html>

平成27年度 教師海外研修(北海道地域) 訪問国:エチオピア

「自分の目で見て心で感じたことを教材にしてみませんか?」

国際理解教育に取り組んでいる教員の方々を対象とした開発途上国における国際協力の現場や人々の生活を視察する研修プログラムです。事前事後研修とあわせて現地での取材や体験をもとにしたオリジナル教材を作成します。

■募集期間:7月上旬~8月29日(土) 当日消印有効 ■訪問時期:2016年1月上旬~中旬予定